

An aerial photograph of a dense urban area, likely Tokyo, with numerous skyscrapers and buildings. Overlaid on the image are several semi-transparent arrows: a large blue arrow pointing right at the top left, a yellow arrow pointing right in the middle left, a yellow arrow pointing left in the middle right, a pink arrow pointing left in the middle right, and a blue arrow pointing left at the bottom right. The text 'Urban Data Challenge Tokyo 2013' is positioned in the top left corner.

Urban Data Challenge  
Tokyo 2013

# 参加者によるグループディスカッション の進め方

# スケジュール

時間	項目	内容
15:40-16:20 (40分間)	グループに分かれた議論	•本日参加の皆さまで、先ほど「課題・お悩み」を提供頂いた自治体ごとのグループに分かれて議論
16:20-16:35 (15分間)	議論の取りまとめ	•グループごとに取りまとめ
(休憩 5分)		
16:40-17:10 (30分間)	議論した内容の共有	•グループごとに1名登壇頂き議論した内容を全体に共有
17:10-17:30 (20分間)	質疑・議論	•全体で質疑応答
17:30-17:50 (20分間)	実行委員講評	•データチャレンジイベントの実行委員数名より講評



# ディスカッションにあたって

- 各自治体のグループには、実行委員がファシリテータ、記録係として入ります
- 議論を頂く時間が限られているため **自己紹介はご所属とお名前程度**としてください  
※集まった方のお立場がわかりやすいよう名札の色を区分しています

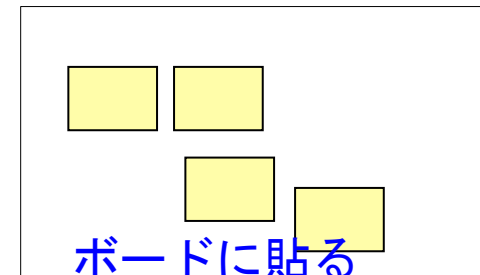
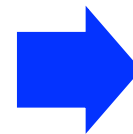
行政機関の方      民間の方      研究機関の方



- 議論を通じて具体化した課題、新たに出た課題やアイデアなどを付箋に記載してスチレンボードに貼っていただきます



付箋に記入する



ボードに貼る

# ディスカッションのテーマ

## 自治体や地域が抱える課題の抽出・深掘り

- どのような課題も対象とします
- 本日参画頂いている自治体に当てはまる課題に限らず、個々のグループメンバーがそれぞれ暮らしている地域・自治体で「自分はこんなことに困っている/課題と感じている」なども含めて議論ください
- 今後開催するデータチャレンジイベントの中で解決を目指す指定課題としていけるよう、具体的なメニュー出しを目標とします

例：自転車事故が多いためそれを減らしたい

例：高齢化が進んでいるため高齢者が元気に暮らせる仕組みを作りたい

